

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年5月18日

【会社名】 S B Sホールディングス株式会社

【英訳名】 SBS Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鎌田 正彦

【本店の所在の場所】 東京都墨田区太平四丁目1番3号

【電話番号】 03(3829)2222 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営管理部長 田中 康仁

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区太平四丁目1番3号

【電話番号】 03(3829)2332

【事務連絡者氏名】 執行役員経営管理部長 田中 康仁

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成30年5月18日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社リコー（以下「リコー」という。）から、同社の子会社であるリコーロジスティクス株式会社（以下「リコーロジスティクス」という。）の普通株式の一部（発行済株式数の66.6%（小数点第二位以下を切り捨て））を取得（以下「本株式取得」という。）し、リコーロジスティクスを当社の連結子会社化することについて決議し、同日付でリコーとの間で株式譲渡契約を締結しました。

また、本株式取得は、特定子会社の異動を伴う子会社取得に該当するため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 子会社取得の決定（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告内容）

(1) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

（平成30年3月31日現在）

商号	リコーロジスティクス株式会社
本店の所在地	東京都大田区京浜島一丁目2番6号
代表者の氏名	代表取締役 社長執行役員 若松 勝久
資本金の額	448百万円
純資産の額	13,939百万円（連結） 12,680百万円（単体）
総資産の額	33,246百万円（連結） 26,307百万円（単体）
事業の内容	運輸・倉庫業

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益、及び純利益

（連結）

（百万円）

事業年度	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
売上高	74,679	71,420	71,725
営業利益	1,957	2,182	1,929
経常利益	1,867	2,092	2,057
当期純利益	1,278	1,294	1,428

（単体）

（百万円）

事業年度	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
売上高	61,126	59,971	61,416
営業利益	974	1,129	1,408
経常利益	1,390	1,778	1,873
当期純利益	942	1,390	1,392

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社グループは、お客様のサプライチェーン全体に行き渡る物流サービスをご提供し、グループ企業の総合力で、物流にかかわるあらゆる課題をワンストップで解決しています。

一方、リコーロジスティクスは、事務機器大手リコーの物流子会社として、国内外で3PL事業を展開しており、リコーグループ物流業務全般を担っているほか、大塚商会の「たのめーる」を受託するなど、リコーグループ以外のお客様にも物流サービスを提供しています。

本株式取得により、当社グループはメーカー系物流サービスの強化を図り、物流サプライチェーンをさらに強固にサポートする体制を構築することが可能となります。

当社グループの3PLや不動産開発のノウハウ、また過去の物流会社のM&Aを通して培ってきた経営ノウハウを活用することで、リコーロジスティクスの更なる成長・飛躍を実現すると共に、双方のネットワークや顧客基盤、技術、ノウハウを融合させることで生まれる以下のシナジーが、「全方位の物流機能を有する3PL企業集団」を強化し、当社グループの企業価値向上に有効であると考えています。

本件株式取得は、リコーロジスティクスの成長を通じて、現在、リコーが「第19次中期経営計画」の中で掲げている「リコー再起動」を物流面からサポートできると両社が判断し、合意に達したものであります。なお、本件株式取得後も、リコーロジスティクスの全ての常勤役員は留任し、経営の継続性を保ってまいります。一方、弊社から非常勤役員を派遣し、グループの一体化、シナジーの拡大に取り組んでいく所存です。

全国ネットワークの強化

当社グループとリコーロジスティクスの持つ全国ネットワークの融合により、大規模で効率的な物流網を構築していきます。これにより、幅広い顧客のニーズに応えることが可能となり、競争力強化に不可欠なスケールメリットの獲得に寄与します。

機械化・自動化への対応

労働力不足に伴う物流センターの機械化・自動化が急速に進展すると予測されるなか、この分野で先行しているリコーロジスティクスのノウハウを、当社グループ全体で活用し、先進的な仕組みを構築し、グループ全体に浸透させることを目指します。

物流不動産の開発における事業モデルの拡大

当社グループの強みである物流センターの開発ノウハウと、リコーロジスティクスの機械化・自動化ノウハウを活用することで、物流不動産開発の事業モデルの成長をより一層加速させていくとともに、倉庫の有効活用や拠点の集約などにより効率化も併せて進めていきます。

サプライチェーンマネジメントの強化

リコーロジスティクスの生産物流ノウハウを活用した物流サプライチェーンマネジメントの領域拡大や、当社グループとリコーロジスティクスの連携によるワンストップサービスの構築など、より広範囲で効率的な物流サービスを提供していきます。

海外事業の拡大

リコーロジスティクスの海外ネットワークやノウハウを取り込むことにより、海外事業の強化を図ります。海外拠点については両社の重複が少なく、シナジー効果は大きいと期待しています。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額(注)

リコーロジスティクス株式会社の普通株式	18,000百万円
アドバイザー費用等(概算額)	300百万円
合計(概算額)	18,300百万円

(注) 子会社取得の対価の額は、銀行借入にて充当する予定です。

2. 特定子会社の異動について(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく報告内容)

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金、事業の内容、並びに、当該異動前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

名称	リコーロジスティクス株式会社	
住所	東京都大田区京浜島一丁目2番6号	
代表者の氏名	代表取締役 社長執行役員 若松 勝久	
資本金の額	448百万円	
事業の内容	運輸・倉庫業	
当社の所有に係る特定子会社の議決権の数	異動前	- 個
	異動後	4,333,333個
特定子会社の総株主等の議決権に対する割合	異動前	- %
	異動後	66.6%

(2) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由

当社がリコーロジスティクスの普通株式を取得することにより同社は当社の子会社となり、当該子会社の純資産の額は、当社の純資産の額の100分の30以上に相当し、また、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当します。そのため、当該子会社は当社の特定子会社に該当することとなります。なお、本株式取得は、当社による私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第10条第2項に基づく届出について法定の待機期間が経過し、かつ公正取引委員会により排除措置命令等本株式取得を妨げる措置又は手続がとられていないこと等を条件としています。

異動の年月日

平成30年8月1日(予定)

以 上